

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2008-182740(P2008-182740A)

【公開日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2008-60955(P2008-60955)

【国際特許分類】

H 04 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月17日(2009.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レファラ NSPICK チャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、

前記レファラ NSPICK チャの前記同一位置のブロック決定し、

前記同一位置のブロックがlist 1動きベクトルのみを有しているときは、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、前記同一位置のブロックの前記list 1動きベクトルを選択し、

選択された前記list 1動きベクトルにビット演算を行なうことにより、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルの少なくとも1つを導出する、ことを特徴とするダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【請求項2】

前記ビット演算により、前記双予測ブロックの前記ダイレクトモード動きベクトルは右方向に8ビットシフトされることを特徴とする、請求項1に記載のダイレクトモード動きベクトルの導出方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のダイレクトモード動きベクトルの導出方法は、レファラ NSPICK チャの同一位置のブロックを用いた、現在のピクチャの双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの導出方法であって、レファラ NSPICK チャの同一位置のブロック決定し、同一位置のブロックがlist 1動きベクトルのみを有しているときは、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルを求めるための動きベクトルとして、同一位置のブロックのlist 1動きベクトルを選択し、選択されたlist 1動きベクトルにビット演算を行なうことにより、双予測ブロックのダイレクトモード動きベクトルの少なくとも1つを導出することを特徴とする。